

科目名	人間と科学（社会学Ⅰ）	英語科目名	Cultural Science I (Sociology)
開講年度・学期	平成28年度前期	対象学科・専攻・学年	5年全学科
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	履修単位
担当教員	神谷悠介	居室（もしくは所属）	
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp（上野）
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE基準
①社会学の基礎概念を説明できる。	①	D	b
②現代社会の問題を説明できる。	①	D	b
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
上記2点について、前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、後期末試験、および授業内課題によって評価する。			
評価方法			
前期中間試験・前期末試験・後期中間試験・後期末試験を80%、授業内課題を20%で評価する。			
授業内容			
1. ガイダンス	授業の到達目標および基礎概念を確認する。		
2. 社会学の基礎概念を理解する1	社会学的想像力と社会調査を理解する。		
3. 社会学の基礎概念を理解する2	社会学の学説史を理解する。		
4. ジェンダーとセクシュアリティ	ジェンダー・セクシュアリティ概念を理解する。		
5. LGBT とは何か	性的多様性をとらえるための視点を理解する。		
6. 格差社会とネオリベリズム	近年の経済格差拡大の背景を理解する。		
7. 職業生活と就職活動	就職活動と働くことの意味について考察する。		
8. 中間試験	ここまでの内容を復習する。		
9. 職業生活と家庭生活の調和	ワークライフバランスのアプローチを理解する。		
10. エスニシティと言語・文化	近代化による国民創出と民族との関係を理解する。		
11. 間接民主制とカウンターデモクラシー	間接民主制とCDの相互補完関係を理解する。		
12. ポジショナリティとは何か	社会問題をめぐる当事者性・非当事者性を理解する。		
13. 宗教の歴史と現在	様々な伝統宗教の特徴を理解する。		
14. 環境問題の歴史	公害対策から環境保護への歴史的転換を理解する。		
15. 総括	ここまでの内容を復習する。		
キーワード	社会学的想像力、社会調査、基礎社会学、応用社会学		
教科書	なし		
参考書	講義中に適宜紹介する。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	政治・経済・国語・歴史・哲学・歴史学		
現学年の関連科目	人間と科学Ⅰ／Ⅱ		
次年度以降の関連科目	なし		
連絡事項			
シラバスの内容に変更があった場合には受講者に対して速やかに説明する。			
シラバス作成年月日	平成28年2月5日作成		